

「2024春季生活闘争勝利！第50回衆議院選挙勝利！政策・制度要求実現！」  
長崎地区総決起集会

!!! みんなで賃上げ、ステージを変えよう! !!!



連合長崎高藤会長



連合本部芳野会長



国民民主党長崎県連  
西岡秀子代表  
(第50回衆議院議員  
選挙立候補予定者)



立憲民主党長崎県連  
白川幹事長



社会民主党長崎県連合  
坂本幹事長



連合長崎女性委員会  
佐々木幹事



末次精一氏  
(第50回衆議院議員  
選挙立候補予定者)



吉田慎一氏  
(長与町長選挙  
立候補予定者)



原野浩三氏  
(長与町議再選挙  
立候補予定者)



連合長崎地協塩田議長によるガンバロー三唱

連合長崎と連合長崎地域協議会は、共催で3月9日(土)10時30分から「旧県庁跡地」にて「2024春季生活闘争勝利/第50回衆議院選挙勝利/政策・制度要求実現！」長崎地区総決起集会を開催し、構成組織、政党関係者、長退連など県下各地から950名の方々にご参加いただきました。また、連合本部より芳野友子会長にもお越しいただき、集会での連帯のあいさつとテモ行進までご参加いただきました。

冒頭、主催者あいさつで連合長崎高藤会長は、「今年の元日に能登半島で大地震が発生し、多くの尊い命が奪われた。また、今なお避難されている方々も多く居られ、復旧作業が続けられている。衷心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

今後は、被災地の受け入れ態勢が整い次第にはなるが、連合本部と連携を取りながら、復旧支援に答えて行きたいと考えているため、皆様のご協力を宜しく願いたい。」とし、次の2点に触れて挨拶いたしました。

①今年の春季生活闘争について

「今年の闘争は現在の生活環境を踏まえて、昨年水準よりも多く、物価高を上回る「賃上げ」が求められて

いる。現在、各単組では産別の方針に沿って要求書が提出されている状況だと思うが、既に大手組合を中心に交渉が進んでおり一部満額のマスコミ報道もなされている。来週から大手の正式な回答が出され、その後中規模企業・小規模企業、地場企業の順で進んでいくこととなる。

昨年までのコロナ禍に続いて急激な物価高となり、私たちの生活は疲弊している。物価高だけ賃金が上がらない、だから出費を抑えるしかない。個人消費が低下するのは当然の事である。従って、疲弊する生活を向上させ個人消費を伸ばし、経済を好循環に変えるためにも、物価を超える賃上げを勝ち取り、実質賃金をプラスに転じさせなければならない。

しかし、現在の中小企業では、昨年からの急激な物価高により諸経費もかさみ財源が減少する中で、事業存続の元となる「人材の定着や確保」のために、大幅な賃上げが求められる。

私たちが昨年から訴えているように、「サプライチェーン全体で、人件費に反映される適切な価格転嫁が行われるシステムづくり」。そして今こそ、国全体で「多くの

働く仲間」が居る中小企業を守るための「子育て支援」や「年収の壁支援」と同様の「中小企業への真水の支援」が必要だと考えている。

連合長崎は、「地方版政労使会議」などあらゆる場面でこの思いを訴え続け、制度的な改善に全力で取り組んでいく。

そして、産別・単組の粘り強い交渉と併せて物価に負けない賃上げを勝ち取り、社会全体に波及させ、経済も、賃金も、物価も、安定的に上がる経済社会へとステージを転換していこう。

また、春季生活闘争が終わると地域別最低賃金の審議が始まる。最低賃金近傍で働く方々の生活の改善を目指し、目標としている時給1,000円に少しでも早く到達できるよう全力を尽くすことを、この場で表明したい。

## ②政策・制度要求の実現に向けた政治活動について

私たちは、「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざし、各級選挙に取り組んでいる。昨年から次期解散総選挙に向けて準備を進めてきたが、自民党の裏金問題によって、急きょ3区補選が4月28日の投開票で施行されることとなった。

この長崎県では、国政選挙について「7団体懇話会」の枠組みの中で調整を行っているが、先の会議において、この3区補選については「山田勝彦」氏。次期解散総選挙では、1区は「西岡秀子」氏、2区は「山田勝彦」氏、3区は「末次精一」氏の勝利に向け、7団体が一丸となり取り組むことを確認し、連合長崎としてもこの3名を推薦決定している。

併せて、長崎地協の管轄である長与町では、町長選

と町議再選挙が4月21日の投開票で施行される。その、町長選では「現職の吉田慎一町長」を推薦し、町議再選では「草野浩二」さんの推薦を決定している。

3区補選からの解散総選挙、そして長与町長選、町議再選の推薦候補者の勝利を目指して全力で取り組みを展開していく。

各組織においても、自民党の利権政治にNOを突き付け、私たち生活者の政治を取り戻すため、連合長崎推薦候補者の勝利に向け、最大限の取り組みをお願いしたい。

春季生活闘争も政治活動もこれからが正念場である。改めて連合長崎として、全力で戦い抜く決意を申し上げる。共に頑張りましょう!」と力強く挨拶しました。

その後、推薦する各政党からご挨拶をいただき、第50回衆議院議員選挙、長与町長選挙、町議再選挙において連合長崎が推薦する立候補予定者の紹介を行い、連合長崎女性委員会による集会アピール、連合長崎地域協議会の塩田議長によるガンパロー三唱を行い、総決起集会を終了しました。

集会終了後には、参加者全員による街頭アピール行動(デモ行進)も行い、賃上げの社会的機運醸成に向けPRを行いました。

物価高やコロナ禍で傷んだ暮らしにより苦しい状況が続いていますが、連合長崎、地協、構成組織が一丸となり、昨年を大幅に超える賃上げの実現すなわち2024春季生活闘争勝利と第50回衆議院議員選挙勝利、政策・制度要求実現に向け、総力を結集した取り組みを進めましょう!



春闘決起集会参加者



芳野会長も一緒にデモ行進

## 協会けんぽ長崎支部より加入者の皆様へ、保険料率変更のご案内

令和6年3月分(4月納付分)以降

健康保険料率

10.21% → 10.17%

介護保険料率

1.82% → 1.60%

※ 任意継続被保険者の方は、令和6年4月分(4月納付分)から保険料率が変わります。  
 ※ 40歳から64歳までの方には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。

各都道府県支部の保険料率は、加入者の皆様の医療費に基づいて決定されます。健康づくり等の推進により医療費の伸びを抑えることができれば、保険料率の上昇も抑えることができます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

加入者お一人おひとりの取り組みが

保険料率の上昇を抑える大きな力になります。



お手元の保険証をご確認ください!

協会けんぽの保険証(水色)  
 保険証の下、保険者名称欄に記載されている支部名が、ご加入されている支部となります。

◆詳しくは、協会けんぽHPをご確認ください。

全国健康保険協会 長崎支部  
 協会けんぽ

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

電話:095-829-6000(代表)  
 (受付時間/平日 8:30~17:15)

〒850-8537 長崎市大黒町9-22 大久保大黒町ビル本館8階

協会けんぽ

検索



## 2024春季生活闘争総決起集会宣言

2024春季生活闘争、連合はすべての働く仲間の生活向上につながる賃上げをめざし、「連合アクション」を展開してきた。われわれは、本集会において、地場中小組合における「賃上げ」、さらには、労働組合のない職場で働く仲間にも大きなうねりとして広げていく決意を改めて確認した。

物価高のもと、私たち働く者の暮らしは厳しさを増し、人手不足で一人ひとりの負荷も増しており、賃上げは社会的要請として高まっている。デフレマインドを完全に払しょくし、生活の安定、個人消費の拡大、本県の課題である人材の確保・定着と人材育成につなげるためにも、物価を確実に上回る賃上げを実現しなければならない。

現在、連合長崎構成組織においても、多くの組合が賃上げを中心とする「人への投資」にこだわった要求を提出し、精力的に交渉を進めている。私たち労働組合は、職場や地域で働く仲間の生活向上への期待を力に変え、社会的うねりをつくりだしていく。

あわせて、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向け、私たちの求める政策・制度要求の取り組みを強化しなければならない。そのためにも、来たる長与町長選挙、長与町議再選挙、衆議院長崎県第3区補欠選挙、第50回衆議院選挙において、候補予定者全員の当選を勝ち取ろう！

2024 闘争は、経済も賃金も物価も安定的に上昇する経済社会へとステージ転換をはかる正念場である。労使は社会的責任を果たすため、今こそ答えを出す時である。

組合員はもとより、すべての働く仲間へと持続的な賃上げの流れを波及させる。この断固たる決意をもって、組合員の総意と組織の総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘い抜こう！

2024年3月9日

2024春季生活闘争勝利！第50回衆議院選挙勝利！政策・制度要求実現！  
長崎地区総決起集会

# 今こそジェンダー主流化の加速を！

3月9日(土)14時から長崎県勤労福祉会館において、3.8国際女性デー長崎集会を開催いたしました。

この3.8国際女性デー長崎集会は、「連合長崎ジェンダー平等推進計画 フェーズ1」にて策定した「Change / 達成目標」の一つである「ジェンダー平等に関する理解を深めるための学習会」として実施しているものです。

冒頭、連合長崎女性委員会森野委員長は、「小さいころから違和感や不満、生きづらさを感じることもあり、それがジェンダーに起因していることに大人になって気づいた。社会に根強く残っている偏見や差別によるものだとわかり、同時に、学んで、行動すれば変えていけることなのだ」と希望を見出したような、自分を苦しめていたものから解放されるような心地よさを感じた。

職場でも性別で区別しないことなどジェンダーフリー教育に率先して取り組んでいる。

多様な価値観や生き方が、マイノリティとしての生きづらさを抱えている人たちだけではなく、すべての

人の価値観や生き方を豊かにすることにつながっていると感じている。

本日の集会が、働くものが連帯し行動することで社会を変えていくこと、誰もが自分らしく豊かに生きていくことにつながるきっかけになることを願う。」

と挨拶しました。集会では、連合長崎推薦議員である「西岡 秀子」衆議院議員から、国会議員の中ではマイノリティである女性国会議員としての苦労なども交えながら、「ジェンダー平等と多様性～国会の動きは～」と題して講演をいただきました。

参加者からは「夫婦別姓を頑張ってもらいたい。」「自民党の改憲草案では、家族条項を追加するようになっているが、家父長制の復活であり、ますますジェンダー平等が遠のく。憲法審査会の状況を教えてほしい。」という意見が寄せられました。

連合長崎では、今後も、女性委員会を中心にジェンダー主流化の加速とジェンダー平等社会の実現をめざして取り組んでまいります



森野委員長挨拶



講演 西岡秀子氏

### 国際女性デーとは？

1857年3月8日、米国のニューヨーク市で被服工場や繊維工場に働いていた女性たちが抗議行動を起こしました。彼女たちは非人間的な労働条件と低賃金に対して抗議の声を上げたのです。警察は抗議者たちを襲撃しましたが、2年後の3月、彼女たちは初めて労働組合を結成して自らを守り、職場における基本的権利を獲得することに努めました。

1908年3月8日、15,000人の女性が労働時間の短縮、賃上げ、選挙権、児童労働の廃止を訴えて「パンとバラ」のスローガンを掲げ、ニューヨーク市内をデモ行進しました。パンは賃金や労働条件などの経済的安定、バラは女性の尊厳として生活の質の向上を示しています。

1910年コペンハーゲンで開催された「第2回国際会議婦人会議」で、ドイツのクララ・ゼトキンが、「米国の被服労働者のストライキを記念する日を国際的な性格をもつ女性デーとして、世界の女性たちが一致して毎年、男女平等と平和のための行動をおこすこと」を提起し、17カ国から参加していた100人を上回る女性たちの満場一致の承認を得て採択されました。そして、この「国際女性デー」は、選挙権を含む女性の権利のための運動の栄誉を称える日として確立されたのです。

連合では、1996年から春季生活闘争の統一行動として、全国の仲間と共にこの行動に取り組んでいます。

# 2024年新年交歓会を開催

～社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～

連合長崎と連合長崎地協は、共催で1月10日(水) 18時30分から長崎市の「ホテルニュー長崎」において「2024年新年交歓会」を開催しました。四年ぶりのフル規格での開催ということもあり、県議、市議、町議、友好団体等の来賓の皆様、構成組織役員の参加者を含め約190人が参集する盛大な新年交歓会となりました。

冒頭、参加者全員で今年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により亡くなられた皆様への哀悼及び被災されたすべての皆様へお見舞い、そして被災地の一日も早い復興を祈り、黙祷を行いました。

主催者挨拶にて高藤会長は、「年頭から悲しい出来事が続いている。このような状況の中、この新年交歓会自体を開催して良いものか悩んだが、能登半島震災からの復興と、その他多くの課題解決に向けて、心をひとつにするため、計画通り開催することをご理解いただきたい」とし、次の3点に触れ、挨拶を行いました。

①私たちの生活は、依然として物価高により厳しい状況にある。昨年30年ぶりとなる賃上げ水準を実現したが、中小企業の賃上げは低位なままであった。その要因は、物価高騰分を価格に転嫁できずに企業収益を圧迫していること、つまり、価格転嫁の遅れである。格差是正を含めた継続的な賃上げを図るためには、労務費を含む適正な価格転嫁ができる環境を作ることがカギとなることから、賃上げ機運醸成と併せて価格転嫁の取り組みにも注力していく。そして産別・単組の粘り強い労使協議と併せた連合全体の力で、今次闘争の賃上げ5%以上を勝ち取り、その成果を社会全体に波及させることで、日本の実質賃金をプラスに転じさせたい。

②自民党の裏金問題を見て感じることは、「長期政権」と「一強多弱の環境」はこうも組織の緊張感を無くし、腐敗させていくものだと思われている。しかし、この政権を選んだのは有権者であり、そうさせてきた野党にも責任はあると考えている。今こそはつきりと「NO!」を突き付けるためにも来る選挙では確実に勝利しなければならない。今一度皆様のご協力をお願いしたい。

③世界の各地で紛争が続いている。非常に悲しいことに多くの一般市民が犠牲になりながらもまだまだ収束の兆しは見えない。紛争の長期化は、核兵器使用の危険性を高めるため、早期の平和的な解決を願っている。連合長崎は、被爆地長崎の労働組合として、連合本部と連携し、戦争のない「世界の恒久平和」と「核兵器廃絶」の取り組みを強化するとともに、その思いが世界に広がるように、発信力を強めて参りたい。と力強くあいさつをしました。

その後、多くのご来賓を代表して、大石賢吾長崎県知事、鈴木史朗長崎市長をはじめ、長崎労働局局長、国民民主党長崎県連代表、立憲民主党長崎県連代表、社民党長崎県連合副代表、長崎中国領事よりあいさつを受けました。

最後に塩田淑文長崎地協議長による気合のこもったガンバロー三唱で締めくくり、2024年新年交歓会を終了しました。

連合長崎、連合長崎地協は、2024年も構成組織の皆様と一丸となって各種取り組みを行ってまいります。各構成組織の皆様のご支援、ご協力をよろしく願いたします。



高藤会長挨拶



第50回衆議院議員推薦候補者とともに団結ガンバロー





# 思いよお米よ子どもたちへ届け!

## ～アジア・アフリカ支援米発送式 開催～

1月15日(月)、アジア・アフリカ支援米の発送式を長崎市役所前広場で執り行い、たくさんの皆様にお越しいただきました。今年は連合長崎各地協・ブロックで収穫したお米が1,980kg、皆様のカンパから購入したお米が1,020kg、全部で3,000kgのお米を、アフリカのマリ共和国・カンボジアのくっくま孤児院・長崎県内の子ども食堂(22か所)とひとり親家庭など生活困窮世帯を支援する「つなぐBANK」に届けます。長崎県、長崎市の各行政をはじめ各級議員の皆様、御来賓の皆様、ご参加いただきありがとうございました。



お米贈呈(子ども食堂ネットワーク)



お米贈呈(つなぐBANK)





# 九プロ春闘推進会議・開始宣言集会・春闘キャラバン出発式

## を長崎市で開催！～九州各県の地方連合会が一同に集結～

2月1日(木)連合九州プロック春闘推進会議、開始宣言集会・春闘キャラバン出発式が開催され、九州各県の地方連合会及び連合長崎構成組織より約100名が集結しました。

春闘推進会議では、2024春季生活闘争セミナーとして「2024春闘を取り巻く情勢と私たちの課題」と題し、労働政策研究・研修機構リサーチアソシエイトの松上隆明さんをお招きし、お話をいただきました。

その後行われた春季生活闘争開始宣言集会・春闘キャラバン出発式では、「昨年を大きく超える賃上げの

獲得と価格転嫁によりデフレからの脱却を目指す」とした宣言を採択し、最後に連合長崎高藤会長より「地方連合会の賃上げの機運を高める活動と、産別単組の粘り強い交渉が一体となって、物価高に負けない賃上げを勝ち取り、経済の好循環へとステージを変えるために、全員一致団結して頑張ろう!」と力強いガンバロー三唱がありました。

九プロ春闘キャラバンは長崎を出発し、九州各県を回ったあと、3月5日(火)沖縄県で集結式を行い、終了しました。



連合長崎高藤会長挨拶



連合九プロ藤田代表幹事  
(連合福岡会長)挨拶



ガンバロー三唱



九州各県連合会が集結

## 連合長崎 組織代表者会議を開催！

### ～春闘方針や組織拡大方針を確認する～

1月20日(土)連合長崎組織代表者会議を開催し、県下各地の構成組織より役員の方にご参加いただき、2024年春季生活闘争方針や連合長崎組織拡大プラン2030の実現に向けた取り組み方針の提起を行いました。

冒頭、高藤会長の挨拶を受け、連合長崎種村副事務局長及び連合長崎宮崎オルガナイザーより2024連合長崎春闘方針と組織拡大に向けた取り組み方針につい

て構成組織へ説明し、質疑応答を行いました。また、連合本部森本オルガナイザー(九プロ担当)より本部の組織拡大の考え方や具体的な事例を交えての講演をいただきました。

最後に参加者全員で春闘勝利と組織拡大を決意するガンバロー三唱を行い、組織代表者会議を締めくくりました。



会長挨拶



森本オルガナイザー



みんなで賃上げ！

# 2024年連合長崎 地域協議会・ブロック連絡会議 役員紹介 (2024年3月1日現在)

地域協議会名	議 長	事務局長	書 記
長崎地域協議会	 塩田 淑文 (基幹労連)	 西野 輝夢 (電力総連)	 草野いづみ (ユニオン)
長崎地域協議会 西彼北部ブロック連絡会議	 中尾 圭太 (基幹労連)	 小川 寿 (自治労)	
諫早・島原地域協議会	 大木 豊 (日教組)	 入江 良美 (ユニオン)	 中島 麻美 (ユニオン)
諫早・島原地域協議会 島原ブロック連絡会議	 中島 耕太 (電機連合)	 杉野喜代志 (自治労)	
大東・杵岐・対馬地域協議会	 高崎 融 (自治労連)	 川本 良美 (ユニオン)	 平地由紀子 (ユニオン)
大東・杵岐・対馬地域協議会 杵岐ブロック連絡会議	 田嶋 伸宏 (自治労)	 西浦 太一 (自治労)	
大東・杵岐・対馬地域協議会 対馬ブロック連絡会議	 次川 久也 (JP労組)	 末永 慎司 (自治労)	
佐世保地域協議会	 櫻本 洋 (全水道)	 瀬上 徳博 (ユニオン)	 大田 昌枝 (ユニオン)
佐世保地域協議会 北松ブロック連絡会議	 家本 泰輔 (基幹労連)	 浜本 竜二 (自治労)	
五島地域協議会	 新藤 圭輔 (自治労)	 松山 忠敏 (ユニオン)	 大島 鶴恵 (ユニオン)
五島地域協議会 上五島ブロック連絡会議	 尾上 富幸 (自治労)	 松岡 貢 (自治労)	

地協のニュースも連合長崎のホームページに掲載をしています。  
ぜひ、各地協の活動に注目ください！

連合速報へのご意見・ご感想はこちらまで → [t-nishino@nagasaki.jtuc-rengo.jp](mailto:t-nishino@nagasaki.jtuc-rengo.jp)